

きぼう

2014年3月1日
藤野「福まち」広報誌
第18号

●発行／藤野地区社会福祉協議会

●企画／藤野地区福祉のまち推進センター広報啓発班



▲奥様と談笑のひとつき
◀大好きなカラオケを
パークゴルフで
健康の維持を



6年後の東京オリンピック観戦と 地域奉仕が目標…お元気な94歳

[藤野本通町内会]

吉田 三郎 さん

私は大正9年3月、江戸時代には徳川幕府の蝦夷地における政治経済の要の場所「村並」として栄え、その後北海道開拓と経済産業の中心地となった「小樽」で生まれました。

12人兄弟姉妹の第5子、三男で、父は日本通運の小樽支店長でした。

大学生当時戦争が始まり、学徒出陣で繰上げ卒業、旭川師団に入隊し、アッツ島出征の命令を受けましたが、その後戦況悪化で中止となり習志野歩兵連隊に転属となりました。そこで通信（モールス信号）の訓練で網膜を患い、陸軍病院に入院し、退院後は兵役免除で小樽に帰りました。

小樽では全農（今のJA）に入社して各地を転勤、定年後関連会社に出向して、昭和59年「終の棲家」として藤野に居住しました。

本通クラブ（老人会）会長8年、藤野老人クラブ協議会会長3年等を歴任しました。現在も、

全農（JA）札幌支部OB会支部長、藤野老人クラブ協議会顧問、本通クラブ相談役、花愛好会藤野副会長をつとめております。

長寿の秘訣は、40歳から毎日朝食前に続けている、1時間程度の柔軟体操です。これは、手首、足首、膝の体操を行い、四股を踏み、腕立て伏せを100回行います。そして、食事は腹八分目と決めて実行しております。

お蔭様で、今も毎月、本通クラブの例会に出席して麻雀やカラオケ、パークゴルフ、談笑コーナーでの歓談を楽しんだり、町内会の仲間と毎月パークゴルフコンペにでかけて、懇親会で飲んで、歌って、パークゴルフ談義を楽しんでおります。

健康寿命の維持に努力して、6年後の東京オリンピック観戦を目標に、地域社会に奉仕することを考えております。

（取材 仙北）

今年も楽しく盛り上がった 藤野地区「ふれあい交流会」

平成 25 年 10 月 6 日(日) 藤野地区センター

毎年趣向を変えて開催される「藤野地区ふれあい交流会」(担当:福まちふれあい交流班)、今年度は、藤野在住で、江差追分全国大会優勝者、民謡界の第一人者である卯子澤弘美さんほかの出演による「民謡のしらべ」を行いました。

手拍子あり、笑いありで、会場は、詰めかけた200人余りの皆さんで大いに盛り上がり、楽しいひとときとなりました。(取材 中野)



「うんどう教室」 今年度は 「転倒・骨折予防体操」 を実施

福まち「健康づくり活動班」が担当する「うんどう教室」。今年度は、藤野地区19町内会を4つのブロックに分けて、「転倒・骨折予防体操」を実施しました。

転倒の危険度を簡単にチェックしたあと、血圧・握力・片足立ち・速歩等の測定を実施。転倒の度合いをAとBのグループに分けて、それぞれにあったストレッチを学習・実践しました。

むずかしいことはありません。みなさんも、筋力アップで介護いらずの元気な身体を作り、健康長寿を目指しましょう！（取材 岩崎）

[第1ブロック] 9月4日実施／参加41名
白樺・東藤野・高見台・中央・白川

[第2ブロック] 9月11日実施／参加40名
本通・団地自治会・西藤野・十五島・緑町

[第3ブロック] 9月13日実施／参加48名
野々沢・藤野公園・高台・藤ヶ丘西

[第4ブロック] 8月18日実施／参加42名
藤ヶ丘南・第一・第二・三区・富士見



▲AとBにグループ分けしたあと、それぞれにあったストレッチを学習・実践！



▲まずは基礎体力を測定して転倒の危険度をチェック



▲測定結果をもとに、AとBにグループ分け



▲ストレッチの意味や注意点などを簡単に説明



藤野の日々の福祉を担う

藤野地区民生委員・児童委員協議会



民生委員は、民生委員法に定められ、厚生労働大臣から委嘱を受けた一般の住民による公的なボランティアで、地域住民の立場に立って、住民の暮らしを支援する役割を担っています。また、児童福祉法に基づいて児童委員も兼ねており、子どもに関わる相談支援活動も行っています。

民生委員のうち、主任児童委員は、地域の子どもの達に関する問題を専門に担当しています。

全国に約25万人、札幌市で約2,800人の民生委員・児童委員が在籍しています。特別職の地方公務員という立場にあって、法律で守秘義務が定められており、相談の内容の秘密を守り、個人情報やプライバシーの保護に配慮した支援活動を行っています。

民生委員・児童委員は専門家ではありませんが、高齢者の生活や介護に関すること、健康・資料に関すること、子育てに関することなど地域の方々の生活の中で生じるさまざまな問題を、関係機関と連携しながら調整を進めていきます。

日頃は担当地域を一人の民生委員が担当して

いますが、状況に応じて連携した活動も行います。

藤野地区には29名の民生委員・児童委員がいて、「藤野地区民生委員・児童委員協議会」を構成しています。月1回の例会を開催し、藤野地区全体に対する情報や意見の交換、個々の事例への対応などの協議を行っています。

民生委員・児童委員の任期は3年で、昨年12月に一斉改選が行われました。

担当の民生委員・児童委員については、藤野まちづくりセンター、藤野社会福祉協議会、各町内会、区役所保健福祉課等にお問い合わせください。
(取材 小林)



▲一斉改選で新たに委嘱状を受けた藤野のメンバー
▼月1回の例会で、情報の交換などが行われる



藤野地区子育てサロン



	サロン開催日	時間	会場⇒お問い合わせ
①	第4月曜日(12月は第3月曜日)	10:00～12:00	藤野ふれあいの家「サンルピナス」(藤野 2-4) ⇒藤野本通町内会 尾下 591-5026
②	毎月1日 (土・日・祝日の場合は変更あり)	10:00～12:00	②藤野南小学校ミニ児童会館(藤野 4-6) ③藤野の沢小学校1階オープンスペース多目的ホール(石山 528) ⇒藤野地区社会福祉協議会 主任児童委員 鈴木 596-3960・鉢呂 596-1008
③	毎月15日 (土・日・祝日の場合は変更あり)	10:00～12:00	藤野白樺会館(藤野 4-9) ⇒白樺文庫 中野 591-1100
④	毎週木曜日	10:00～12:00	藤野三区会館(藤野 6-4) ⇒やまびこ文庫 吉野 591-7066
⑤	毎週火曜日(春・夏・冬休みあり)	10:00～11:30	むくどりホーム(藤野 2-1) ⇒むくどりホームふれあいの会 591-7035(月・火・土) 594-2207(その他の曜日)
⑥	毎週月・火・土 (祝日・春・夏・冬休みあり)	10:00～16:00	西藤野会館(藤野 2-11) ⇒西藤野町内会 河野 596-3562
⑦	第4木曜日 (不定期で世代間交流年2回)	10:00～12:00	十五島町内会館(藤野 1-7) ⇒十五島ふれあいサロン「ウキウキひろば」 枝川 591-4778
⑧	第1木曜日	10:00～11:30	藤野児童会館(藤野 2-8) ⇒藤野児童会館 592-1532
⑨	毎週水曜日(夏・冬休みあり)	10:30～12:00	

■子育てサロンはどなたでも参加できます。

- ・ 0才から就学前のお子さんとその保護者
- ・ これからお父さんお母さんになる方
- ・ 地域にお住まいで、親子と一緒に遊んでみたい方



子育てサロンは、自由に集い、遊んだり情報交換をする場です。楽しい親子遊びの紹介や育児サークル作りもできます。ぜひ、お気軽にお近くの子育てサロンへ遊びに来てください。

■児童会館の子育てサロン

参加費は無料です。直接児童会館にお越してください。学校や児童会館の行事などにより、変更または中止になることがあります。お問い合わせは児童会館へ。(取材 棚橋)

✻✻平成25年度藤野地区福まち研修会✻✻

第1回

「自分たちにできる支援について」

平成25年8月22日(木)、藤野地区センターにおいて、第1回福まち研修会が、介護予防調整会議を兼ねて開催されました。

「自分たちにできる支援について」をテーマに、①独居高齢者、②知的障害のある高齢者、③高齢者夫婦の3つの具体事例を、9つのグループに分かれて検討しました。

各グループでは、まずメンバーの自己紹介のあと、事例について各自が思いついたことなどを付箋に記入し、大きな用紙に貼りだします。これに基づいてグループ全体で意見を出し合い、まとまった内容を代表者が発表。今後の福まち活動に役立つ提案が続きました。(取材 中野)



第2回

「もしもの時の看護～こんな時、あんな時どうするの!?～」

平成26年1月29日(水)、藤野地区センターにおいて、第2回福まち研修会が開催されました。

定山溪病院看護部の田中かおり先生を講師にお招きし、出血・火傷・骨折などのケガや、のどづまり・誤飲・様子がおかしいときなどの応急処置や、救命処置についてお話をいただいたあと、質疑応答も行われました。

高度医療の現場から、家庭の中の現状まで、現実に即した、具体的でわかりやすいお話の内容に、参加した方々はうなずきながら聞き入っていました。(取材 田中)



ブロック別実践者交流会

藤野地区の福祉活動に関わる関係者が情報や意見を交換する「実践者交流会」が、4つのブロックに分かれて開催されました。

これは、各町内会の福祉推進委員会、福祉



部、民生児童委員などに藤野地区社会福祉協議会、包括支援センター、介護予防センター、南区保健福祉課の方々も加わる、「福まち」の年度最後の事業です。(取材 田中)

[第1ブロック] 3月14日実施
富士見・第一・第二・十五島・藤野公園

[第2ブロック] 3月7日実施
緑町・三区・本通・藤ヶ丘南

[第3ブロック] 2月28日実施
中央・高台・高見台・野々沢・藤野団地

[第4ブロック] 3月5日実施
西藤野・白樺・白川・藤ヶ丘西・東藤野

若い力を募集中!! 札幌市赤十字奉仕団 藤野分団



藤野分団長の庄野百合子さんに聞く

日本赤十字社北海道支部は今年で創立125周年、とても歴史のある団体です。『日赤』と聞くと、私達は「赤い羽根共同募金」や「献血」を思い浮かべますが、実際にはどのような活動をしているのでしょうか。

+

藤野分団はいつ頃発足し、何名で活動されているのですか？

南区には現在7分団あり、藤野は石山から分かれて平成4年6月に結成されました。団員は現在56名ですが、高齢化が進み、実際に活動しているのは約半数です。

主に、どのような活動をされているのですか？

一番大きな事業は、社資募集（日本赤十字社



地味ですが、ウエス作りも大切な活動の事業資金の協力)です。

その他、老人福祉施設にタオルやウエスを、藤野地区の3つの小学校には雑巾を寄贈しています。

藤野地区の皆さんへ一言!!

地域のために奉仕活動をしているので、この記事を見て一人でも多くの方に団員になっていただければと思います。団員の高齢化が進んでいるので、若い方に是非入っていただきたいです。奉仕活動してみたいという方は、是非ご連絡ください。

連絡・お問い合わせ先⇒庄野 (591) 3694

(取材 棚橋・小野)



「福祉マップ」 づくりを通して、 安心・安全な まちづくり!!

昨年度は、藤野の全町内会から福祉に携わる方が集まって、「福祉マップ」づくりについて学びました。

これを受けて、今年度は、実際に「福祉マップ」づくりに取り組む町内会が増えました。既に作成していた町内会も含めて、19町内会のうち6つの町内会が「福祉マップ」づくりに取り組んでいます。

各町内会では、「福祉マップ」づくりを通して、



高齢者世帯の状況を把握し、地域の見守り活動や支援活動に役立てようとしています。

とはいえ、やはり大切なのは、「向こう三軒・両隣」・ご近所の温かい『目配り』『気配り』『心配り』です。

藤野に住む皆さんが互いに支え合い、安心・安全なまちづくりをしていきましょう。

(取材 小野)

敬老の日に向けて、児童たちが「敬老メッセージカード」を作成

藤野地区町内会連合会と藤野地区社会福祉協議会の共催による、「敬老メッセージカード」の作成が、今年度も実施されました。

これは、敬老の日に向けて、藤野地区の全小学校の児童たちが手作りするもので、藤野地区の80歳以上の方々に贈られました。

写真は、昨年9月3日に藤の沢小学校で行われた「メッセージカード伝達式」の様です。



「福祉除雪」の取材にテレビスタッフが藤野に来訪

「福祉除雪」は、玄関前の除雪が身体的に負担になっている高齢者等を対象に実施している福祉サービスです。この取材に、1月10日、STVのテレビスタッフが藤野を訪れました。

取材に応じた協力員は、緑町の児玉浩さんと山本晃功さんあきのり。協力員も高齢化が進んでいます。自分の健康維持のためにもがんばっているとのことでした。この模様は、1月14日の「どさんこワイド」で放送されました。



本紙第17号が、広報誌コンクールに入賞

昨年度発行された、本紙「きぼう 第17号」が、平成25年度「福まち活動写真 及び 広報誌コンクール」の広報誌部門で「優秀賞」を獲得しました。前年の第16号も「審査員特別賞」を獲得するなど、毎年の入賞が続いています。

昨年9月19日に授賞式が行なわれ、創刊から17号まで編集のとりまとめをされてきた、枝川広報啓発班前副班長が、出席されました。

★福祉なんでも相談★

地域の方々の様々なお困りごと、悩みごとの相談に応じ、関係機関におつなぎします。電話による相談も受け付けています。

相談日 毎週月曜日(祝日休み) 13時～15時

場所 藤野地区社会福祉協議会事務所

藤野2条8丁目7-18

電話 591-5082

●編集後記●

本年度も、福まち広報誌「きぼう」を、藤野地区の皆様にお届けすることができました。

近年は、「天変地異」ともいえるような大災害や異常気象が発生し続けています。このような世の中であって、少しでも自分を取り戻し、日々の落ち着いた暮らしを考えることは大切なことと思います。

藤野地区の「福まち」活動は、地味ですが、地域に根ざした身近な福祉活動を支えています。本誌によって、少しでもその理解が広まっていくことを願っています。(林田)

「きぼう」第18号

発行人 田中 義一

編集者 岩崎、小野、小林、仙北、武田、
田中(一)、棚橋、中野、林田、
森永(連絡先 中野591-1100)

組版印刷 編集工房なかの(藤野5-9)